

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

国立健康危機管理研究機構（JIHS）AMR臨床リファレンスセンターでは、倫理審査委員会の承認を受け、以下の研究が実施されていることを透明性確保のためにお知らせいたします。

本研究はバングラデシュにおいて、保護者から文書による同意を得て実施される研究であり、日本国内の患者さん・利用者の検体や診療情報が研究に使用されることは一切ありません。

研究内容について詳細をお知りになりたい場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。

[研究課題名] バングラデシュにおけるワクチン接種の普及率と適時性を向上させるための行動変容アプローチと組み合わせたモバイルヘルスソリューション：クラスターランダム化比較試験

[研究の概要] 本研究は、バングラデシュ農村部において、**自動音声通話および SMS リマインダー（行動変容メッセージ付き）**を用いた介入が、乳幼児の予防接種率および接種適時性の改善にどの程度有効であるかを評価するものです。

研究対象者：バングラデシュにおけるワクチン接種の普及率と適時性を向上させるための行動変容アプローチと組み合わせたモバイルヘルスソリューション：クラスターランダム化比較試験

[収集する情報] バングラデシュにおける研究参加者から、同意の上で以下の情報を取得します：予防接種記録（EPIカードの確認）、保護者・世帯の基本情報、携帯電話利用状況、ワクチン接種に関する知識・態度・行動、音声通話や SMS リマインダー送信記録

日本国内の診療情報や検体を使用することはありません。

[研究の目的] 乳幼児のワクチン接種を促進するために、どのモバイルヘルス介入（音声通話 /SMS）が最も効果的かつ費用対効果が高いかを明らかにすることを目的としています。

（遺伝子解析研究：該当なし）

[研究実施期間] 倫理審査委員会承認日 ～ 2027年3月31日（予定）

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問合せ担当者]

機関長：国立健康危機管理研究機構 理事長 國土 典宏

研究責任者：国立健康危機管理研究機構 AMR 臨床リファレンスセンター 薬剤疫学室長 都築 慎也

研究内容の問合せ担当者：国立健康危機管理研究機構 AMR 臨床リファレンスセンター イスラム モハメッド ラシェドウル

電話：03-3202-7181（代表）（応対可能時間：平日のみ 9:00-17:45）

作成日： 8 年 02 月 24 日

第 1.4 版